

# 東京海上日動火災保険(株)と包括連携協定を締結

～循環型社会形成の実現とSDGsの推進に関する包括連携協定～

令和3年10月25日、循環型社会の実現と産業廃棄物業界のさらなる発展を推進するために、東京海上日動火災保険(株)と協会間で包括連携協定を締結いたしました。

協定にあたって(1)安全衛生、(2)地域の防災・安全、(3)GXの推進、(4)健康経営の実現、(5)サイバーセキュリティについて、連携協力して取り組んでいきます。



千葉県産業資源循環協会(杉田昭義会長)は、25日、東京海上日動火災保険千葉支店(江原樹支店長)と「循環型社会形成」の実現と「持続可能な開発目標(SDGs)」の推進に関する包括連携協定を締結した。当日は双方から代表者が出席し、協定書を取り交わした。同協会が同様の協定を取り交わすのは、都道府県ごとの「循環型社会形成」の実現と「持続可能な開発目標(SDGs)」の推進に関する包括連携協定では初めという。協定にあたっては▽安全衛生▽地域の防災・安全▽GX▽トレーニングの推進▽健康経営の実現▽サイバーセキュリティなどについて相互連携を図っていくとしている。

協定にあたって杉田会長は「保険制度の充実など、職場環境が改善され、同業種への入職者増加につながることも期待しながら、一昨年の台風災害での対応などに触れ「復旧活動を通じた協力体制を強くしていきたい」と期待する一方、災害時の業務の問い合わせなどについても、事業継続計画(BCP)の作成などについて同社から勉強して



日刊建設新聞 令和3年10月27日 掲載

## 県産資協 東京海上日動と協定 SDGs推進へ全国初

「一昨年の台風災害での対応などに触れ「復旧活動を通じた協力体制を強くしていきたい」と期待する一方、災害時の業務の問い合わせなどについても、事業継続計画(BCP)の作成などについて同社から勉強していき」とした。江原支店長もまた、循環型社会の形成に寄与する同協会の地域貢献活動に敬意を示しながら、その発展を手伝えるべき一層広く、深く付き合えればと、「ウィンウィン」の協定締結を喜んだ。今後両者は自動車や火災、労働災害などによる不慮の事故やその防止に当たって安全衛生面で協力していくとし、来月にもセミナーの開催も予定されているという。



協定書を手にする杉田会長(左)と江原支店長(右)